

## 令和5年度第2回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

開催日時	令和5年8月30日（水）午後2時～午後4時
開催場所	緑保健福祉センター2階 大会議室
出席者	
（委員）	伊藤委員、大槻委員、岡本委員、角川委員、鴨委員、木之内委員、久保委員、小林委員、小山委員、笹塚委員、茂田委員、篠原委員、末永委員、鈴木委員、豊田委員、野崎委員、馬場委員、廣田委員、福邊委員、安川委員、山本委員、四倉委員、迫谷委員、茂庭委員
（事務局）	長瀬緑区長、石井緑区副区長兼総務課長、 村田緑保健福祉センター所長兼高齢障害支援課長、土谷地域づくり支援課長、 石毛社会福祉協議会緑区事務所長 他5名
	計 34名

### 【次第】

- 1 開 会
- 2 新任委員紹介
- 3 委員長挨拶
- 4 議 題
  - (1) 緑区支え合いのまち推進計画原案の承認について（全体ワーク）
    - ア タイトルの文言修正（「基本理念」から「基本目標」への変更）について
    - イ 重点取組地区の確認について
  - (2) 令和4年度取組状況及び令和5年度計画の情報共有について（グループワーク）
- 5 閉 会

### 【議事要旨】

#### 議題（1）緑区支え合いのまち推進計画原案の承認について（全体ワーク）

事務局より、第5期計画「具体的な取組み」原案について、資料1を使用して説明し、タイトルの文言修正（「基本理念」から「基本目標」への変更）及び原案の内容について承認された。（重点取組地区について一部修正あり。議題（2）の議事要旨参照。）

#### 議題（2）令和4年度取組状況及び令和5年度計画の情報共有について

（グループワーク）

※議事要旨は次ページ以降にグループ毎に記載しています。

※簡潔にするため、文体は常体で表記しています。

## 誉田エリア

リーダーの進行により、各委員から令和4年度取組状況・令和5年度計画等について発表するとともに意見交換を行った。(重点取組項目の変更あり。16「見守り活動の推進」を◎から○に変更。)

### ■社協地区部会

- (山本委員) 誉田地区部会では、取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組として、障がい者施設への慰問訪問を行っている。  
なお、令和4年度に平山地区部会が分離した関係で、活動状況に影響が出ている。  
また、取組項目16「見守り活動の推進」の取組として、2団体が見守り活動を実施しており、今後活動団体を増やしていくことが課題となっている。  
取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、あんしんケアセンターが2カ月に1回開催している誉田あんしんネットワーク会議に参加しており、関係団体の情報を得る良い機会となっている。

### ■民生委員児童委員協議会

- (安川委員) 民児協では、取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組として、誉田団地でラジオ体操を実施しているほか、誉田中学校で「地域ふれあいタイム」として、印鑑・JINKEN(犬のぬいぐるみ)作りをしており、令和4年度はJINKEN(犬のぬいぐるみ)を誉田小と誉田東小の6年生に寄贈するとともに、人権に関する講話を行った。  
また、取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組として、ふれあいカフェを実施しており、令和4年度はコロナの影響で中止したが、令和5年度は感染状況を考慮しながら実施を検討している。  
取組項目5「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」の取組としては、子育てサロンを開催しており、令和5年度は毎月開催しているが、参加者が減少していることが課題。  
取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、誉田団地と誉田1丁目で、登下校時の見守りを実施している。  
また、取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組として、あんしんケアセンターが2カ月に1回開催している誉田あんしんネットワーク会議に参加しており、情報交換の場としてとても役立っている。

### ■あんしんケアセンター

- (迫谷委員) あんしんケアセンター誉田では、取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・

情報提供」の取組として、サロンやシニアリーダー体操などの集いの場に訪問し、情報提供などをしており、令和4年度に引き続き、令和5年度も実施を予定している。その他、「あんしんケアネット」という広報誌を発行している。

取組項目8「老人クラブの活性化」及び17「健康づくり支援」の取組としては、令和4年度はグリーンの会等の地域団体を訪問し、軽体操を実施したほか、令和5年度はボッチャ体験やゴムボール体操を実施している。その他、誉田公民館では、毎月ほんだ貯筋倶楽部を開催しており、令和5年度も継続して実施する。

取組項目15「助け合い活動の推進・外出困難者への支援」の取組としては、買物困難者へ移動販売等の情報提供や支援を実施しており、令和4年度は、誉田2丁目市営団地や平川町の個人宅に、令和5年度も誉田2丁目のほまれ幼稚園付近に移動販売を導入した。

取組項目4「障害者（児）その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」及び18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、誉田あんしんネットワーク会議を2カ月に1回定期開催しているほか、市主催の自立促進ケア会議に参加している。令和5年度は、出張相談会を開催予定しているほか、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会議」に参加している。

取組項目16「見守り活動の推進」及び19「自宅療養中の家族がいる家庭への支援」の取組としては、ジュニア認知症サポーター養成講座を実施しており、誉田中学校に関して、令和4年度は参加出来なかったが、令和5年度は12月に実施予定。その他、認知症サポーター養成講座を、令和4年度は11月と3月に実施しており、令和5年度はこれから計画する。

取組項目20「ボランティアの確保」の取組としては、市が設置しているみかんの会が主催する「認知症サポーターステップアップ講座」に参加しており、ボランティアの育成を図る活動をしている。ボランティアや担い手の育成は今後の課題と考えている。

(安川委員) ほまれ幼稚園への移動販売はどのような状況か。

(迫谷委員) 既に開始しており、利用者は少ないが、継続される見込み。高田町も買物が困難な地域だが、家が点在しているため、移動販売導入が困難な状況がある。

(大槻副委員長) 老人クラブの活性化に関して、小学校の生徒や体育振興会と連携できると良い。

## ■町内自治会連絡協議会

(大槻副委員長) 誉田地区連協では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、毎月地区連協の代表者会議、2カ月に1回正副会長会議を開催し、情報共有を図っている。

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、子ども会を中心に町内自治会や青少年育成委員会が支援する形でかかしアートの取組を実施しており、令和5年度は17体のかかしを作成した。大人と子どもが交流する良い機会となっている。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、誉田1丁目を中心に高齢者の集いを開催しており、毎回50名程度の参加を得て

いる。

取組項目4「障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、家庭で過ごす子達との関係について民生委員と協力して支援していけると良いと考えている。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」の取組としては、例年スポーツ振興会による運動会を実施していたが、令和4年度はコロナ感染のため中止となっている。令和5年度は開催する予定。なお、令和5年度は、祭りを開催し盛況であった。

取組項目8「老人クラブの活性化」の取組については、町内自治会としても協力していきたい。高田ニュータウンは若い世代が多いので、意見を合わせるのが困難なことがあるが、地域の清掃等は協力してもらえることになった。

取組項目11「生活環境の整備」の取組としては、誉田駅前広場の整備や歩行者専用道路の設置を要求している。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、避難所開設訓練を実施しており、令和5年度は誉田中学校で50名以上の参加があり、マンホールトイレの設置やベッドの組立て等の訓練を行った。

取組項目14「身近な防犯、安全対策」の取組としては、通学路を中心に防犯協会や千葉南警察署と協力し、防犯パトロールを毎日実施している。その他、令和5年度は千葉南警察署の協力を得て、学校で交通安全の講習会を開催予定。

取組項目15「助け合い活動の推進・外出困難者への支援」の取組としては、平川町や高田町のバス路線廃止により、買物や通院が困難となっているため、乗り合いタクシーの導入等について検討している。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組については、対象世帯が約90世帯あるが現在は中断している。

取組項目17「健康づくり支援」の取組としては、ラジオ体操やウォーキング参加への呼びかけを行っており、高齢者の参加促進が課題となっている。

取組項目18「地域の課題解決への連携」の取組については、誉田地区の住民に運動会への協力について、呼び掛けていきたい。

## ■その他意見概要

- (大槻副委員長) 取組項目16「見守り活動の推進」は重点取組項目としているが、活動が非常に難しい。回覧板ですら受付を拒否される方がおり、顔合わせする機会もない。重点取組項目「◎」から取組項目「○」に変更してはどうか。
- (安川委員) 民生委員としては独居高齢者の見守りは重点的に取り組みたいと考えている。
- (事務局) 町内自治会と民生委員では、立場も取組内容も異なるところがある。守秘義務があるため情報共有も難しい。
- (山本委員) 民生委員としては重点的に取り組む項目だが、町内自治会や地区部会の立場では活動が難しい。
- (安川委員) 地区として取組項目「○」とすることは、差し支えない。

## 椎名エリア

リーダーの進行により、各委員から令和4年度取組状況・令和5年度計画等について発表するとともに意見交換を行った。重点取組項目の変更なし。

### ■社協地区部会

(岡本委員長) 椎名地区部会では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、広報誌「椎名だより」を年2回発行している

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、5月11日に田植え体験を実施したほか、10月18日にSDGsの授業として、地球温暖化に関する授業を実施する予定。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、11月から「ふれあい食事会」を再開することが決定した。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」の取組としては、米寿、金婚の記念写真撮影(11月3日)、敬老会(9月30日)、福祉バザー(12月)、羯鼓舞の演舞(12月)の実施を予定している。

取組項目9「町内自治会の活性化」の取組としては、ペットボトルキャップの回収活動を6町内会で実施し、月1回、地区部会役員が回収している。

取組項目10「地域活動の場の確保」の取組としては、椎名公民館の新築に向けて区長・市との対話会を8月に開催した。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、古市場団地で高齢者等の見守りを継続して実施している。

取組項目17「健康づくり支援」及び取組項目19「自宅療養中の家族がいる家庭への支援」の取組としては、6月から地区を巡回して認知症予防のための健康体操会を実施している。

(小山委員) 見守り活動に関して、最近では見守られる対象者が干渉されることを嫌がり、見守りを希望しない場合もあることが課題と考えている。

(岡本委員長) 買物支援に関して、椎名地区にあったスーパーせんだうが移転してしまったため、近隣住民が困っている。買物支援策に関しても考えていく必要がある。

### ■町内自治会連絡協議会

(小山委員) 椎名地区連協では、取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組として、令和4年度は5月28日に椎名小ミニ運動会を開催し、令和5年度は6月10日に通常規模の運動会を感染症に注意しながら開催した。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」及び取組項目17「健康づくり支援」の取組としては、令和4年度にバレーボール大会(11月)及びソフトボール大会(12月)を開催しており、令和5年度も同様に開催予定。その他、10月8日に体育祭の開催を予定しており、時間の短

縮と接触の機会を減らした内容を計画している。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、避難所開設訓練を、令和4年度は8月28日に各自治会館で、令和5年度は8月27日に椎名小学校で実施し、9月3日には古市場体育館で実施する予定。

取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、椎名公民館の新築に向けて「椎名公民館新築促進委員会」を組織し、連協・社協地区部会・民児協・スポ振・公民館・PTA等の関係団体と協議を進めており、8月24日に区長との対話会を開催した。公民館を避難所とするかどうかは明確になっていないことが課題である。今後、市と協議を進めていく予定。

(廣田委員) 災害時、椎名地区の住民はどこの避難所を利用するのか。

(小山委員) 椎名小学校や古市場体育館、又はおゆみ野の公民館を利用することになる。令和5年6月の大雨時は、椎名公民館は避難所として開設していない。

(廣田委員) 椎名地区には障害者施設はあるのか。

(岡本委員長) 椎名地区には障害者施設はない。

## ■民生委員児童委員協議会

(鈴木委員) 民児協503地区では、取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組として、椎名小学校の生徒を対象に福祉出前授業を地区部会と連携して令和5年10月16日に実施予定。市から4年生を対象に配付される福祉に関する冊子に基づき、民生委員が福祉についての授業を行う。

また、食育支援事業として、4月19日に椎名ライスセンターの見学、5月11日に田植え体験を実施し、9月12日には稲刈り体験を実施する。例年実施していた太巻き寿司づくりはコロナ感染防止のため中止する。

(岡本委員長) 例年実施していた「しいのみ祭」も現在は休止となっている。

(鈴木委員) 取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、地区部会常任理事会への出席や学校行事に参加、協力したほか、歳末独居高齢者慰問として、高齢者宅を訪問して安否確認を行うとともに、記念にタオルを配付した。

## 土気エリア

リーダーの進行により、各委員から令和4年度取組状況・令和5年度計画等について発表するとともに意見交換を行った。重点取組項目の変更なし。

### ■社協地区部会

(茂田委員) 土気地区部会では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、広報紙「ふくし」の発行を年2回行っている。町内会員以外の人に配付できていないことが課題。

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供」の取組としては、思春期ふれあい体験学習の講師として子育てサロンの親子が参加する予定であったが、令和4年度はコロナの影響もあり親子の参加はできなかった。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、ふれあい食事会を令和5年度から再開する。いきいきサロンが1箇所増え、現在19箇所ある。

取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、ふれあい福祉フェスティバルやポッチャサロンを、取組項目5「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」の取組としては、子育てサロンを、取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」の取組としては、昨年、イベントが全て中止になってしまったが、再開しつつある。マラソン大会については開催状況を把握しきれていない。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、地区部会としての取り組みが進んでいないが、啓発活動を行っている。

取組項目13「災害時ボランティア活動の充実」の取組としては、ボランティアの方向けに救急救命講習を行っている。

(木之内委員) マラソン大会について、土気地区の四中学校で行っていたが、参加者が少なく中止になった。令和5年度は、マラソン大会の代わりにポッチャ大会を開催予定。

### ■千葉市精神障害者南地域家族会

(鴨委員) 精神障害者南地域家族会では、取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、毎月例会を行っている。例会で取り上げるテーマについてはその時々で決めていく。11月には専門家を呼び、拡大例会という講演会を行っている。高齢化により、役員になる人がいない状況が課題。精神療法「オープン・ダイアログ」を行っている。緑区にACTという組織を作ろうと思っているが、難しい状況である。ACTとは多職種 of 専門家から構成されたチームが、障害者の生活をサポートするプログラムである。

## ■民生委員児童委員協議会

(木之内委員) 代表として509地区の重点取り組み項目について報告する。

民児協509地区では、取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組として、民生委員による避難行動要支援者名簿に掲載されている方々への支援体制を作っている。市から提供された名簿に基づいて、避難時の優先順位を考えている。しかし、個人情報を含む名簿を持つ負担感から、名簿を持たない自治会が増えているのが現状。防災対策課などの行政機関と協力して、名簿を活用できるようにしたい。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、民児協の得意な分野なので、さらに力を入れていきたい。又、見守りの中で、要支援者名簿についても考えていきたい。

取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、毎月1回「見守りネットワーク土気会議」に参加し、関係機関との連携を強めている。又、昨年は防災対策課が行っている要支援者支援に関するモデル事業において、講師を行うなどした。

(鴨委員) 課題解決について、高齢者に対してはどのようなことを行っているのか。

(木之内委員) 主に健康づくり支援を行っている。土気地区は特に高血圧の人が多いため、10月に発行される広報誌「ふくし」に減塩について掲載してもらおう。

## ■あんしんケアセンター

(福邊委員) あんしんケアセンター土気では、取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組として、「見守りネットワーク土気会議」を開催し、地域の課題について検討・共有している。令和5年度も毎月開催しており、15～20人程が参加している。

また、要支援のケースを共有し、その方に合った地域資源を検討する「インフォーマルケア会議」を開催している。会議の中で、高齢者が外出する際に休憩をする場所がないことや、呼び寄せの高齢者が地域に馴染みづらいことが課題に挙がっている。

取組項目19「自宅療養中の家族がいる家族への支援」の取組としては、認知症サポーター養成講座を毎年開催している。令和4年度は3カ所で行っており、令和5年度は、おゆみ野地区部会を対象に講座を行った。又、ジュニア認知症サポーター養成講座を6カ所の小中学校で予定している。新型コロナウイルス感染症の状況によって、開催方法を考えていく必要がある。

## ■町内自治会連絡協議会

(野崎委員) 取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、回覧や広報誌を利用し、情報共有を図っている。

取組項目2「子供たちの集いの場の提供、情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、学校後援会を組織している。4中学校区では、21の自治会



が年間約30～70万程の支援を行っている。又、「とけサマーフェスティバル」や「あすみが丘クリスマス音楽祭」などの行事を行っている。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、社会福祉協議会と共同で「土気いきいきサロン」や「ゆうゆう散歩」を開催している。今年が高齢者が集う場の設置を推進するため、社協土気地区部会との連携を図る。

取組項目7「子ども会の活性化」の取組としては、補助金の給付を行っているが、子どもの数が減っており、活動が縮小しつつある。

取組項目8「老人クラブの活性化」の取組としては、サニークラブと称し、ゆうゆう散歩や団地内パトロール、ラジオ体操など活発に活動している。

取組項目9「町内自治会の活性化」の取組としては、特に土気団地自治会が活発に活動している。自治会役員の担い手が不足しており、課題である。

取組項目11「生活環境の整備」の取組としては、46自治会40名の自治推進員による環境美化活動を行っている。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、自主防災組織を持ち、災害に向けて整備管理を行っている。8月には9地区自治会で合同防災訓練を実施。消火器の配付や、私物の井戸の協力要請をしている。今年には防災訓練の充実を図る。

取組項目14「身近な防犯、安全対策」の取組としては、土気地区では20団体が千葉南警察署管内防犯協会登録をしており、防犯パトロール隊として巡回を実施している。又、青色防犯パトロールを実施している。

取組項目15「助け合い活動の推進、外出困難者への支援」の取組としては、あすみが丘第一自治会で週1～2回の移動販売を実施している。その他にも、高齢者のゴミ出し支援やあすみ見守り隊の活動を行っている。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、挨拶運動などによって、高齢者や子どもの見守りを行っている。又、高齢者や障害のある方で見守りを希望する方に声掛けを行っている。

取組項目17「健康づくり支援」の取組としては、ラジオ体操を実施している。しかし、大勢の人と関わることが苦手な住民もいるので、本人の希望を尊重した健康づくりを提案していく必要がある。

取組項目18「地域の課題解決に向けた連携」の取組としては、会員の敷地内の植栽や雑草について、管理の支援が可能な会員と、受けたい会員が話し合い、共同で管理する仕組みを作っていく。

## ■社会福祉法人くちなし

※グループワークの終了時間となったため、直近の計画のみ報告。

(小林委員) 社会福祉法人くちなしでは、取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組として、緑の森工業団地内に勤める方々に向けた救命講習会を今年から再開できる見通しが立っている。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、土気地区部会と共同で主催しているふれあい福祉フェスティバルの再開が可能と思われる。再開は5年ぶりとなる。

## ■ その他意見概要

(鴨委員) 災害時の要支援者に対する対応について、具体的に考えていく必要があると思っている。

## おゆみ野エリア

リーダーの進行により、各委員から令和4年度取組状況・令和5年度計画等について発表するとともに意見交換を行った。（重点取組項目の変更あり。13「災害時ボランティア活動の充実」を◎から○に変更。）

### ■社協地区部会

（角川委員） おゆみ野地区部会では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、広報紙「ゆいゆいおゆみ野！」を年5回発行し、活動報告を行っている。

また、情報共有を目的に地区部会主催事業を開催しており、令和4年度はモルック大会を開催した他、令和5年度は映画上映会の開催を予定している。

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」及び取組項目5「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」の取組としては、子育てサロンを実施しており、コロナ禍で中止している事業が多い中、令和4年度から開催しており、ヘルスメイトに離乳食の作成等をお願いしている。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、いきいきサロンを開催しており、令和4年度は計8回開催し、令和5年度も引き続き開催を予定している。

取組項目4「障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、イオンタウンおゆみ野の協力を得て、種々の催し物を開催しており、令和5年度も引き続き開催を予定している。

取組項目15「助け合い活動の推進・外出困難者への支援」の取組としては、ボランティア講習会を開催している。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、民生委員や学校と連携しながら、見守り活動を進めている。

取組項目17「健康づくり支援」の取組としては、小規模サロンやラジオ体操の支援をしている。

### ■あんしんケアセンター

（四倉委員） あんしんケアセンター鎌取では、取組項目19「自宅療養中の家族がいる家庭への支援」の取組として、認知症サポーター養成講座を実施しており、令和5年度は、おゆみ野南中学校、泉谷中学校、有吉中学校で、高齢障害支援課とともに開催を予定している。

取組項目20「ボランティアの確保」の取組としては、見守り活動団体の各会議に参加している他、総合相談支援業務として、地域住民の様々な相談に応じる中で、必要と思われる情報提供を行っている。

## ■町内自治会連絡協議会

(篠原委員) おゆみ野地区連協では、取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組として、令和5年度は8月27日に避難所訓練を実施した。

また、各種行事について、令和4年度はコロナ禍で実施できなかった取組が多かったが、令和5年度から各種の事業が再開している。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」の取組としては、スポーツ振興会がおゆみ野市民体育祭でポッチャ大会の開催を予定している。おゆみ野夏祭りは令和5年8月に開催し、盛況であった。

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、遊歩道を使用したクイズラリーも実施予定で、遊歩道のペイント事業も実施している。

おゆみ野地区は若い世代が多く、関係団体間で連絡を取り合い、情報交換しながら活動を進めている。

## ■民生委員児童委員協議会

(久保委員) おゆみ野地区の民児協は、顔の見える民生委員を目標としており、社協や青少年育成委員会、地区連協、スポーツ振興会等と協力して活動している。

民児協511地区では、社協地区部会の5つの委員会に所属し一緒に活動しており、511地区単独では、高齢者を対象に3箇所小規模サロンを実施している。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」の取組としては、502・508地区と連携をとり、事業等に参加。また、511地区は育成委員会のイベント(スタンプラリー)に積極的に参加し、チラシを作り景品と一緒に配布し、子ども達に啓発活動を行った。

また、自治会が開催する敬老会に協力しているが、参加者の減少により、単独で開催することが困難な自治会が出てきたため、数か所の自治会が合同で開催(小学校)ができないか検討している。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、高齢者実態調査において民児協独自のチラシを作成し、高齢者に注意を促している。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、避難所運営委員会の運営に参画している。

なお、避難行動要支援者名簿の運用における自治会との協力について、避難所運営委員との関わり方を検討している。

取組項目15「助け合い活動の推進・外出困難者への支援」の取組としては、おゆみ野地区全体(502・508・511地区)で75歳以上の高齢者に外出(買い物・通院)に関するアンケートを行った。その結果、買い物・通院に関しては、今は、不便さを感じていない。むしろ、今は自分の健康のために歩いたり、自転車を利用したりしている。ただ、おゆみ野駅からおゆみ野中央病院へ行く手段がなくタクシーを使っているため、循環バスの運行がほしい。

また、買い物に行き、重たいものを買ったときに配達してくれるお店が欲し

いとの意見があった。今後、関係機関と協議をしていきたい。

民生委員は赤ちゃんから高齢者まで関わる立場なので、顔の見える関係性を築いていきたい。

## ■老人クラブ連合会

(茂庭委員) 老人クラブ連合会では、取組項目8「老人クラブの活性化」及び17「健康づくり支援」の取組として、指導者研修会、役員研修会、女性委員会研修会等の研修会を実施している他、老人クラブと子ども会の育成交流会として、子どもとの話し合いの場を設けている。

また、健康づくり・介護予防支援事業として、グラウンドゴルフ大会、ワナゲ&ダーツ大会、ゲートボール大会、ノルディック・ウォーク、パークゴルフ大会を開催している。

その他、地域支え合い事業として、社会奉仕活動を実施しており、地元の草刈りやゴミ拾い等のボランティア活動を実施している。

活動支援体制強化事業としては、芸能大会、料理教室、活動展資料作成（生涯学習センターでの活動展を実施予定）、自立体力測定を実施している。

## 平山エリア

リーダーの進行により、各委員から令和4年度取組状況・令和5年度計画等について発表するとともに意見交換を行った。取組項目の変更あり（6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」を〇に変更）。

### ■社協地区部会

（伊藤委員） 平山地区部会では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、広報紙を年2回発行している。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、令和4年度はコロナで「いきいきサロン」を休止していたが、令和5年度は再開する予定。

取組項目4「障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、令和4年度はコロナで障害者に関する学習会や障害者施設の訪問を実施できなかったが、令和5年度はコロナの様子を見ながら実施できるよう検討する。

取組項目5「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」の取組としては、「子育てサロン」を月1回実施している。「子育てサロン」は、参加者が少ないことが課題となっている。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、一部の町内自治会で訪問や外からのさりげない見守りを実施している。

取組項目20「ボランティアの確保」の取組としては、町内自治会の回覧版でボランティア募集を実施している。

（笹塚委員） 「子育てサロン」について、他地区の活動を参考に、周知の仕方や実施内容を検討していきたい。

### ■町内自治会連絡協議会

（豊田委員） 平山地区連協では、取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、平山小学校のセーフティウォッチャーを実施している。

取組項目6「地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承」、取組項目8「老人クラブの活性化」及び取組項目9「町内自治会の活性化」の取組としては、令和4年度コロナで地域の行事はほとんど中止となったが、令和5年度は徐々に再開してきている。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、平山小学校の避難所運営委員会が備品や設備の確認を行った。

取組項目14「身近な防犯、安全対策」の取組としては、9町内自治会が協力し青色パトロールを実施している。

取組項目1「情報の収集と共有化」及び取組項目9「町内自治会の活性化」の取組としては、町内自治会が毎月会議を開催。連協が2か月に1回定例会を開催し、情報の共有を図っている。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、コロナで活動を休止している町内自治会では活動の再開を検討している。

## ■民生委員児童委員協議会

(笹塚委員) 501地区民児協では、取組項目1「情報の収集と共有化」の取組として、地区部会広報紙を年2回発行している。

取組項目2「子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流」の取組としては、民生委員・児童委員と小学校との会議や情報交換会を開催し、情報の共有を図っている。また、菅田・平山地区の幼稚園・保育園の園長と連絡会議を開催している。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、令和4年度はコロナで「いきいきサロン」を休止していたが、令和5年度は再開する予定。

取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組としては、地区部会の障がい者福祉委員会の活動に参加する。

取組項目5「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」の取組としては、地区部会の「子育てサロン」に協力する。

取組項目12「防災訓練の充実、意識啓発、体制整備」の取組としては、平山小学校の避難所運営委員会に参加し、避難所の運営方法の話し合いや訓練を実施した。

取組項目14「身近な防犯、安全対策」の取組としては、508地区民児協と連携し、有吉中学校のあいさつ運動を行った。

取組項目16「見守り活動の推進」の取組としては、地区の見守り活動団体に協力する。

## ■社会福祉協議会(生活支援コーディネーター)

(馬場委員) 生活支援コーディネーターでは、取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組として、生活支援サイトに掲載するため地域の活動を毎年調査している。新しい活動を始めたいという方には必要な情報を提供している。活動スペースを探している方への情報提供もしているが、新たな場所を開拓することも必要と考えている。地域の方々とつながりを持ち、担い手となる方とマッチングができるようにしたいと考えている。

時間の都合もあるので、他の取組は資料をご覧ください。

## ■ 社会福祉法人ワーナーホーム

(末永委員) 社会福祉法人ワーナーホームでは、取組項目4「障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供」の取組として、就労支援事業としてパン屋を運営しているが、数年前までは近隣のお子さんを招いてパン作り教室を開催し、地域との交流事業を行っていた。障害を持った方がパン作りをしている様子を見に来ていただくなど、地域と障害者施設との交流に貢献できるのではないかと思う。



## 重点取組項目・取組項目 検討結果一覧（第2回会議での変更反映）

### 《基本方針1》コミュニケーション・(学び・継承・交流・ふれあい・社会参加)

取組名	重点取組項目「◎」・取組項目「○」				
	誉田	椎名	土気	おゆみ野	平山
1 情報の収集と共有化	○	○	○	○	○
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	○	◎	○	◎	○
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	◎	○	○	○	◎
4 障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	◎	-	○	○	○
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	○	-	○	◎	◎
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	○	◎	○	○	○
7 子ども会の活性化	○	-	○	-	-
8 老人クラブの活性化	○	-	○	○	○
9 町内自治会の活性化	○	○	○	○	○
10 地域活動の場の確保	-	○	-	○	-
11 生活環境の整備	○	○	○	○	-

《基本方針2》緊急時の支援と対応(災害、防犯と防災、感染症)

取組名	重点取組項目「◎」・取組項目「○」				
	誉田	椎名	土気	おゆみ野	平山
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	○	○	◎	◎	○
13 災害時ボランティア活動の充実	-	○	○	○	-
14 身近な防犯、安全対策	○	○	○	○	○

《基本方針3》身近な生活支援と連携(健康、見守り、介護・ボランティア)

取組名	重点取組項目「◎」・取組項目「○」				
	誉田	椎名	土気	おゆみ野	平山
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	○	○	○	○	-
16 見守り活動の推進	○	○	◎	○	○
17 健康づくり支援	○	◎	◎	◎	○
18 地域の課題解決に向けた連携	○	◎	◎	○	-
19 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	○	○	○	○	-
20 ボランティアの確保	○	○	-	○	○